

平成 29 年 第 5 回 定 例 会 一 般 質 問 通 告 事 項

	<p>山 戸 重 治 議 員 (市 民 連 合) 質 問 方 式 : 一 問 一 答 方 式</p>
<p>12 月</p>	<p>1 芸術文化行政について (1)「現代アート創造発信事業」において、滞在制作・空き家再生・ワークショップに参加した主なアーティストとその作品内容、参加・協力者の総人数と外国人の人数は (2)この事業の展開による交流人口の拡大は、現代アートへの理解と関心の高まりにつながるのか、市長の認識と展望は (3)「十字路 - 尾道アートクロスローズ - 」の百島会場・尾道会場それぞれの入場者数は (4)現代アートの可能性についての市長の感想は (5)現代アート芸術祭の今後の開催に対する市長の考えは (6)尾道港開港 8 5 0 年記念事業の計画は決まっているのか (7)朝鮮回礼使・宋希環の「老松堂日本行録」は尾道の歴史・文化にとってどのような価値があると市長は認識しているか (8)開港 8 5 0 年の記念事業として現代アートの作家による宋希環の詩碑をモニュメントとして設置してはどうか</p>
<p>8 日 午 前</p>	<p>2 有害鳥獣対策について (1)イノシシによる人身事故等の状況はどうなっているか (2)イノシシの捕獲頭数の推移はどうなっているか (3)昨年行われた「狩猟講演会」の参加者の反応はどのようなものだったのか (4)「狩猟講演会」では、どのような成果があったと考えているか (5)「狩猟講演会」の後に、狩猟免許希望者や町内会からの問い合わせはあったのか (6)今年の「狩猟フォーラム」の開催経過や、参加者数、当日の状況はどうであったか (7)市内の狩猟免許保持者の状況はどうなっているか (8)狩猟免許取得費用や狩猟税に対する助成や減免措置はどのようなになっているのか (9)狩猟講演会や狩猟フォーラムは多くの市民が参加できるように毎年計画的に開催し出前講座なども考えてはどうか (10)イノシシによる様々な被害の対策について市長の考えは</p>

3 子育て支援について

- (1) 保育所などの定員数と実際に利用している子供の数、待機児童の現状はどうなっているか、それぞれ、2013年度と比較した場合にはどうなっているか
- (2) 年度途中における待機児童の現状と、ここ数年の推移はどのようになっているか
- (3) 待機児童の定義は
- (4) 国は「育児休業中の保護者であっても、一定の条件で待機児童に含めること。」を通知しているが、尾道市ではどのように対応しているか
- (5) 就学前全体の子どもの数と保育所などを利用している子供の数、各年齢の利用率はどのようになっているか
- (6) 今後益々増加すると考えられる乳児の受け入れ枠は十分に確保されるのか
- (7) 消費税を5%から8%に増税する時に示された保育の質の改善などにおいて、尾道市で実際に改善された内容はあるか